

IV-3 高等部

(1) 高等部教育目標

生徒一人一人が特性や教育的ニーズに対応した学習活動を行うことによって、はたらく力をはじめとする、主体的・自立的な社会生活を営む力を育む。

(2) 基本方針

- ① 生徒の実態や障害の多様化・重複化に対応し、かつ一人一人の教育的ニーズを踏まえた個別の指導計画に即した適切な教育的支援を行い、高等部の教育目標を実現する。そのために2つの教育課程のコースを編成し、生徒の実態に応じた学習活動が学年毎に展開できるようにする。
- ② 将来のはたらく生活を想定し、作業学習を年間を通じて日課の中に位置づけ、さらに十分な現場実習の期間を確保するなど進路学習を充実させ、教育目標の具現を図る。
- ③ 卒業後のより自立的で豊かな社会生活に向けて、個別の教育支援計画を元に全教育課程の中でキャリア教育を展開し、個に応じた適切な移行支援が行えるようにする。

(3) 学習のねらいと内容及び支援

【学習名】 (領域・教科名) 学習集団の単位	ねらい	主な内容	支援
【作業学習】 (作業学習) 部 各作業班	様々な作業に継続して取り組むことを通して、はたらく力(将来の社会参加につながる態度・知識・技能)を身につける。 製品販売会などで社会と触れあう経験を積み重ね、社会(経済)のしくみを知るとともに対人意識を高め社会性を身につける。	エコロジー・園芸・手芸・粘土・農耕・木工の6班で学習し、製品の製作や販売、まとめの会等を行う。	作業学習カードを用い、個の「ねがい」を大切にする。 生徒の実態に応じてはたらく力に関する支援シートを活用する。
【集会の時間】 (特別活動) 部全体	行事への意欲や高等部の仲間としての一体感を高め、豊かな社会性、好ましい人間関係を培う。	学校や部行事、宿泊学習等についての集会を行う。	毎回部のテーマソングを歌う(聴く)ことで一体感を高める。見通しが持てるよう視覚支援を大切にする。
【芸術の時間】 (音楽、美術、自立活動) 部全体	音楽や美術などの芸術的な活動を経験し、情操を育むとともに興味関心を高め、将来の豊かな生活につなげる。	音楽では歌・ダンス・合奏等、美術では切り絵・描画等をグループに分かれて行う。 美術は7月～松養祭までとし松養祭で展示発表を行う。音楽は10月末～2月末まで行い発表の場を設ける。	部内交流も意図して、学年コースを越えたグループを作って活動する。
【生徒会】 (特別活動) 部全体 役員	全校や部の活動の計画や準備、運営を通して、仲間と協力しやり遂げる達成感や実践力・自主性を身につける。	全校集会や全校行事の司会進行を行う。 部行事の企画・運営を行う。	生徒の自主性やよさを生かせるような役割分担をし、仲間と協力して活動できる場を設定する。
【進路学習】 (職業、家庭) 部 学年・コース 学級 個	自己選択・自己決定しながら主体的に卒業後の就労生活をしていくための態度・知識・技能を身につける。	職場見学、校内実習、現場実習、進路相談および事前・事後学習などを行う。	体験と結びつけて卒業後の生活を見通す場を設定する。関係諸機関との連携を図り学習の場を設定する。

【交流教育】 (総合的な探究の時間) 部 学年・コース 学級	社会性と自分なりの自立した生活を送る力を身につけ、自己肯定感を高める。	他の高等学校の生徒や、地域の人々と共に活動し交流する。	学級や個の実態に応じて、共に活動できる内容や場を工夫し設定する。
【修学旅行、宿泊学習、校外学習】 (特別活動) 部 学年・コース 学級	社会や自然への関心を持ち、社会性や公共性、自己選択・自己決定等の力を身につける。	学校内外において、ねらいに即した学習や体験を行う。	見通しをもって活動できるように、十分な事前学習を行う。
【性教育】 (保健体育、日常生活の指導) 学年・コース 学級 個別	個々の実態に応じて目標を設定し、自分や異性の心身の変化を知り、性に対する正しい知識や清潔に対する意識をもつ。	命の大切さや尊さ、自分の心と体、他との関わり方等についての学習を行う。	コースごと少人数グループを設定し、個に応じた学習を段階的に行う。
【道徳】 (道徳) 部 学年 コース 学級 個	社会生活のルールやマナーがわかり、周囲の方々と共にこころ豊かに暮らしていく力を身につける。	ねらいに即した学習を行い、学校内外で実践を積み重ねる。	主に特別活動や総合的な学習の時間を使って、社会参加の機会を設ける。

(4) 各コースの学習

【コース名】	【日常・社会生活支援コース】(ABコース)	【自立生活支援コース】(Cコース)
育てたい力 【学習名】 (領域・教科名) 学習集団の単位	基礎的な生活習慣・日常生活技能の向上を目指すと共に、人と関わりながら安定した気持ちで生活が送れるよう、きめ細やかに個別支援を行い、日常生活をより主体的におくる力を育てる。 日常生活技能の向上を目指すと共に、集団の一員として、生活全般での情緒の安定を図り、主体的に人間関係を築きながら、決まりを守り、役割を果たそうとする力を育てる。	自主的・主体的な活動を重視し、自ら考えて行動できる力を培うと共に、就労生活をおくる上で必要な知識・技能・態度・習慣を身につけ、自立的に生活する力を育てる。
【朝・帰りの会】 (日常生活の指導) 学級	挨拶や音楽を聞くなど生徒ができることを通して、学校生活の始まりと終わりを知り、一日を安定して過ごす。 みんなで歌を歌うなどの興味がもてる活動を取り入れ、出来る限り生徒の運営で会を進行することを通して、一日の生活の見通しをもち仲間と活動する。	当番や係として任された仕事を確実にやり、集団生活の基礎的態度を養う。
【日常生活の指導】 (教科、領域、自立活動) 学級 個	具体的な生活場面で体験的に理解できるようにし、衣服の着脱、靴の履き替え、排泄の習慣、食事の仕方、健康で安全な生活等、日常生活動作の向上と定着を図る。 時と場に応じた服装に自ら着替える、清潔かつマナーを守ってトイレを使用する、集団の一員として決まりを守ろうとする等、日常生活に必要な態度を身につける。	生活習慣、身だしなみ、挨拶、整理整頓、掃除、健康管理に重点をおき、就労生活の基本的な知識と技能を身につける。
【健康タイム】 (保健体育、自立活動) 部 コース 学年 学級 【コース体育】 (保健体育) コース	個の実態に合わせて、外気浴、散歩、ラジオ体操、マラソン、ダンス等のいろいろな運動をし、自発的・主体的に継続して行うことを通して、健康の保持と体力の増進、心理的な安定を図る。 球技、サーキット運動、水泳等を通して体力、運動能力の向上、ルールを守り協力する態度を身につけ生涯体育の基礎を培う。	マラソン・球技、水泳等を通して、適切な運動経験を積み、健康の増進と体力の向上を図る。スポーツに親しみ、スポーツを通して、ルールを守り仲間と協力する心を育てる。

<p>【個別の時間】 (教科・領域、自立活動) 個 課題別小集団</p>	<p>より主体的に生活していくことを目指し、個々の発達段階、興味関心、ニーズに応じて学習することを通して、成長・発達に必要とされる技能や態度の基礎となる力を身につける。 個々の教育課題に沿った学習を定期的な時間を設定して取り組むことを通して、日常生活に必要な知識や余暇利用の仕方、作業に生きる技能などを身につける。</p>	<p>個別の教育課題から必要な学習を継続して取り組むことを通して、基礎基本の学力や、ソーシャルスキル、コミュニケーションスキル等を身につける。 国語、数学の教科学習を行い日常生活に必要な知識を身につける。</p>
<p>【コース・学年の時間】 (特活、教科別学習) コース 課題別小集団</p>	<p>季節の行事やテーマにあわせた校外学習・お楽しみ会・音楽、造形的学習等を行うことを通して、季節感を感じ、同年代の仲間と同じ目標に向かって一緒に活動する経験を重ねる。 学年や学級枠を越えた小グループの集団で、その時期の学校生活の大きなテーマに関連付けた活動や、生徒の楽しみやニーズに合った活動を行うことを通して、皆で楽しんだり、自分から楽しみを見つめたりする力の基礎を培う。</p>	<p>選択教科(社・理・英・情報・音・美・技・家)を行い、自己決定、自己評価、自己表現等の力を身につける。 金銭・調理・衣類・暮らし等の学習をすることを通して、日常生活に役立つ力を身につける。</p>
<p>【学級の時間】 (特活、総合的な学習、道徳) 学級</p>	<p>調理活動、造形学習、校外学習等、クラス単位でまとまって活動する学習を通して、クラスの仲間の一員であることを意識し、人と関わろうとする気持ちをもつ。 学級の仲間と共に学んだり、楽しんだりする中で、好ましい人間関係や健全な生活態度を身につける。</p>	<p>職場見学、公共交通機関を利用した校外学習の計画・実施を通して、自主自立、公共性、社会の一員としての自覚等を身につける。</p>

(5) その他

生徒の所属コースは、1年時は各コースの指標をもとに、一人一人の現在及び将来のニーズを想定しながら、総合的に判断して所属コースの決定を行う。2年及び3年進級にともなうコース移動は、学校生活の様子をもとに学校・本人・保護者が十分に相談をして決めていく。その際に、コースの体験期間などを設けると共に、部として適切な助言を行うように努める。また、生徒のニーズや実態に応じて、日常的に他コースの授業や活動にも参加できるよう柔軟に対応していく。